

## 市民及び事業者アンケート方針

## 1. 目的

市民及び事業者の環境に対する意識、具体的な減量化・資源化の取り組み、ごみの分別や排出状況等の把握を目的に実施します。

本アンケート結果は、姫路市一般廃棄物処理基本計画（以下、「本計画」という。）の基本方針や方策等を検討するうえでの資料として利用します。

## 2. 市民アンケート概要

(1) 調査対象：市政モニター制度による 100 人

(2) 調査方法：郵送またはインターネットによる調査票の配布・回収

(3) 調査期間：6 月中旬から 7 月上旬（予定）

(4) 調査内容

## ① 取り入れたい項目

## ア. 基本的事項

**目的** 各設問結果とのクロス集計に利用します。クロス集計を行うことでより具体的な本市の特性を把握することが可能となります。

**設問例** 年齢区分、世帯人数、住居形態、居住地域、居住年数

## イ. ごみ・環境問題への関心度

**目的** 市民がごみや環境問題について、具体的にどういった事項に関心があるかを調査します。調査結果は本計画の基本理念や基本方針を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・地球温暖化問題に関心があるか。
- ・天然資源の枯渇に関心があるか。
- ・ごみの不法投棄に関心があるか。
- ・市のごみ処理に関心があるか。 等

## ウ. ごみの減量化・資源化への取り組み状況

**目的** 市民が生活の中で実践しているごみの減量化・資源化の取り組み状況を調査します。調査結果は今後の啓発や施策の方向性を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・買い物時にマイバッグを利用しているか。
- ・過剰包装を拒否しているか。
- ・食べ残しが出ないようにしているか。
- ・詰め替え品を購入しているか。 等

エ. 分別収集のルールなどに関する満足度・改善点

**目的** 市民のごみの分別や収集運搬に関する満足度、煩わしい点、改善点等の意見を調査します。調査結果は、今年度実施する家庭ごみのごみ質分析結果と併せて、分別収集に対する方向性を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・ごみ分別に取り組んでいるか否か。また、取り組んでいる（または、取り組んでいない）理由。
- ・ごみの収集回数に満足しているか否か。
- ・ごみステーションの立ち当番を行なっていることは、分別意識の向上につながっているか。 等

オ. 将来に向けた具体的な施策

**目的** 粗大ごみの戸別収集（有料化）や可燃ごみの有料化に対する市民の意見を調査します。調査結果はこれらに対する今後の市の方向性を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・粗大ごみ戸別収集（有料化）の賛否とその理由。
- ・可燃ごみ有料化の賛否とその理由

② 取り入れるか検討中の項目

カ. 本市の施策に関する認知度

**目的** 本市で実施している環境・美化に関する施策の認知度を調査します。調査結果は施策の改廃や周知・啓発方法等を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・全市一斉清掃を知っているか（参加しているか）。
- ・古紙集団回収制度を知っているか（参加しているか）。
- ・生ごみ処理機購入費助成制度を知っているか（利用しているか）。 等

キ. 情報提供を希望する事項

**目的** ごみの減量化・資源化等に関して市民が望む情報について調査します。調査結果はごみの減量化・資源化等に関する市の広報等のあり方を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・資源店頭回収を実施している場所。
- ・ごみ処理施設におけるエネルギー回収状況。
- ・ごみや資源ごみのゆくえ。 等

ク. 地域の環境・美化活動状況

**目的** 自治会などの地域や学校・職場などの団体で取り組んでいる環境・美化活動の状況を調査します。調査結果は市が支援できる取り組みや啓発・情報提供などの方向性を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・地域で川溝清掃を実施しているか。
- ・PTAでバザーを開催しているか。 等

### 3. 事業者アンケート概要

(1) 調査対象：市内事業者 300 社

#### 事業者の選定について

調査対象業種については、オフィスごみ（紙類）・食品廃棄物・容器包装廃棄物（紙製、プラスチック製等）・食品廃棄物等の発生抑制、資源回収の取り組み、環境配慮型製品や技術の研究開発等の状況を把握することを目的としているため、「製造業」、「卸売業、小売業」、「宿泊業、飲食サービス業」を中心として選定します。

なお、市内事業者 300 社の選定については、「平成 26 年経済センサス基礎調査（総務省統計局）」を参考に無作為に抽出いたします。

#### 選定例

項目	事業所数	割合
製造業	2,118	17.2%
卸売業, 小売業	6,614	53.8%
宿泊業, 飲食サービス業	3,555	28.9%
合計	12,287	100.0%



対象
52
161
87
300

(2) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収

(3) 調査期間：6月中旬から7月上旬（予定）

(4) 調査内容

#### ① 取り入れたい項目

##### ア. 基本的事項

**目的** 各設問結果とのクロス集計に利用します。クロス集計を行うことでより具体的な本市の特性を把握することが可能となります。

**設問例** 業種、従業員数

##### イ. ごみ・環境問題への関心度

**目的** 事業所全体でどのようなごみ・環境問題を意識して日々の業務を行っているかについて調査します。調査結果は本計画の基本理念や基本方針を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・地球温暖化問題を意識している。
- ・天然資源の枯渇を意識している。
- ・地域のごみの散乱を意識している。 等

ウ. ごみの減量化・資源化への取り組み状況

**目的** 事業者が事業活動を行う中で実践しているごみの減量化・資源化の取り組み状況や取り組むうえでの課題を調査します。調査結果は今後の啓発や施策の方向性を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・ごみの減量化・資源化に関する社内研修を実施しているか。
- ・再生品を利用しているか。
- ・詰め替え型文具を採用しているか。
- ・資源の店頭回収を実施しているか。

エ. 環境に配慮した事業活動（ものづくりやサービス）について

**目的** 環境に配慮した製品・商材の開発やサービスなどを行なっている事業者の取り組み状況を調査します。調査結果は今後の支援できる取り組みや啓発などを検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・製造業であれば、環境負荷を低減する商品の研究開発に取り組んでいるか。  
（例）既存品に比べ、ごみが少なくなる製品開発を行なっている。  
（例）詰め替えカートリッジ製品の開発を行なっている。
- ・飲食業であれば、食品廃棄物の削減に取り組んでいるか。 等

② 取り入れるか検討中の項目

オ. 情報提供を希望する事項

**目的** ごみの減量化・資源化等に関して事業者が望む情報について調査します。調査結果はごみの減量化・資源化等に関する市の広報等のあり方を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・同業者が実施しているごみの減量化・資源化の取り組み。
- ・資源化業者の情報。 等

カ. 本市の施策に関する認知度

**目的** 本市で実施している環境・美化に関する施策の認知度を調査します。調査結果は施策の改廃等を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・ひめじ環境フェスティバルを知っているか（参加しているか）。
- ・まちかど 100 メートルクリーンアクションを知っているか（参加しているか）。 等

キ. 地域の環境・美化活動状況

**目的** 事業者が単独、または、事業所周辺の自治会などと協同して取り組んでいる環境・美化活動の状況を調査します。調査結果は市が支援できる取り組みや啓発・情報提供などの方向性を検討するうえでの資料とします。

**設問例**

- ・事業所周辺の清掃を実施しているか。 等